



豊ヶ丘小 パクパク通信

平成24年1月19日
多摩市立豊ヶ丘小学校
校長 小林 佳世
栄養教諭 早乙女 理恵
No.23

新年おめでとうございます。今年もおいしく安全な給食を提供し、楽しい食の情報をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

学校給食週間

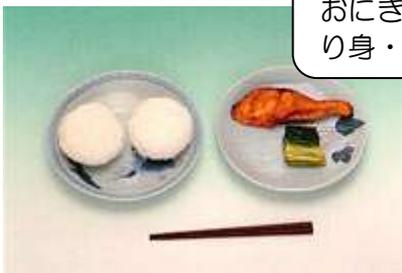
1月24日から1週間は、学校給食週間です。学校給食の始まりは、今から123年前の明治22年です。山形県の忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこれない子どもに、お昼を出してあげたのが始まりです。当時の献立は「おにぎり」「鮭の塩焼き」「漬物」といった、とても質素なものでしたが、みんな喜んで食べたそうです。

その後、第二次世界大戦が激しくなり、一時給食が中断されました。戦争が終わりましたが食糧難は続き、当時の6年生の身長は今の4年生くらいしかなかったそうです。そして昭和21年12月24日、アメリカ合衆国からの脱脂粉乳の寄付により、東京都、神奈川県、千葉県などの都市部で学校給食が再開されました。そこで12月24日が給食再開の記念日になったのですが、現在は冬休みに入るため1月24日が学校給食記念日となり、その1週間は学校給食週間となりました。その週は学校給食の意義や役割について理解と関心を深めることを目的としています。また、給食に携わる人たちの苦労や努力を知り、感謝の気持ちを表す週間でもあります。

色々な時代を経て、現在のように栄養のバランスが良い給食を毎日に食べられるようになったことに感謝し、ご家庭でも給食の歴史についても考えてみましょう。またお父さん、お母さんの小学校時代の給食の話をお聞かせしてあげるのも、とても興味深いと思います。好きだった献立、苦手だった献立、脱脂粉乳の味などはぜひおじいさん、おばあさんから聞かせてあげてください。

明治22年

給食のはじまり
おにぎり・鮭の切り身・漬物



昭和21年

戦後初の学校給食再開
脱脂粉乳・みそ汁



昭和25年頃



くじらの竜田揚げ登場
コッパン・ジャム・脱脂粉乳・
くじらの竜田揚げ・せんきゃべつ

昭和40年頃



ソフト麺・牛乳登場
ソフト麺・牛乳・カレーシチュー
即席漬け・みかん



悪評高い「先割れスプーン」箸とスプーンの両方を兼ねる物として考え出されました。しかし食べづらく犬食いになる、ということで、今は学校給食ではほとんど使われていません。